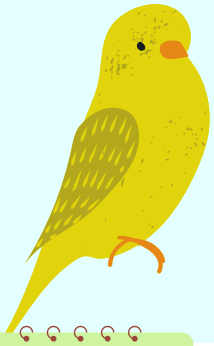

令和７年度後期（10月～３月）

授業公開講座

９月12日
締切

札幌校

XA-01　人文科学入門IV（教育統計）

教育統計の基本的な知識と技能を学び，教育や研究活動の道具としての統計の使い方を身につけます。

講師：戸田弘二
日時：10/6、10/15、10/20、10/27、11/6、11/10、11/17、11/28、12/1、12/8、12/15、12/22、1/5、1/19、1/26　10：40～12：10　（全15回）
会場：北海道教育大学札幌校
定員：6名
対象者：ルート計算のできる電卓の操作ができる人。関数電卓が望ましい。
講座の内容：
この講義では教育や研究活動に必要な基礎的な統計解析の手法を平易に解説します。また、解説した統計量の意味を体験的に理解してもらうために、電卓を用いて実際に計算してみる、計算した結果を文章に書いてみる等の実習も行います。本講義は教育統計の入門的な内容ですので高度な数学の知識は必要ありませんが、電卓を用いますので電卓の使い方は事前に理解しておいて下さい。
注意事項：自作の資料をSNS（BAND)で適宜配付します。初回にこの授業のBANDに参加して入手して下さい。※BANDへの参加方法は，初回の授業で説明します。
また、2月2日（月）は期末試験日です。実力を試したい方はこの日も参加していただいてかまいません。

札幌校

XA-02　発達と学習D

人の発達過程と学習過程について理解し、教育活動への応用を考えます。

講師：吉野巌
日時：10/2、10/9、10/16、10/23、10/30、11/13、11/20、11/27、12/4、12/11、12/18、12/25、1/8、1/15、1/22　10：40～12：10　（全15回）
会場：北海道教育大学札幌校
定員：3名
講座の内容：
本講義では，学習に関する心の働きの特徴と，それらの発達に伴う変化について学んでいきます。特に「わかること」、「覚えること」、「できるようになること」、を中心的テーマとして扱い、教授法、学習・記憶法、動機づけ、発達などの様々なテーマについて、心理学の実験データに基づいて解説していきます。
各回の具体的な内容は、理解過程、認知発達過程、学習過程、遺伝と環境が発達に及ぼす影響、記憶と思考の過程、メタ認知と学習方略、動機づけと愛着の発達などです。
使用テキスト：テキストは使用せず、自作の資料を配付します。
参考図書（興味のある方は購入をお勧めします）：
藤田哲也（編著）『絶対役立つ教育心理学』ミネルヴァ書房
栗山和広（編著）『授業の心理学：認知心理学からみた教育方法論』福村出版
佐藤浩一『学習支援のツボ：認知心理学者が教室で考えたこと』北大路書房
注意事項：講師の都合、悪天候等により、オンデマンドで実施することがあります。1/29は期末テスト（参加は自由）です。

旭川校

XB-01　日本文学概論 II

日本近代文学（明治～昭和期）における人・作品・歴史

講師：村田裕和
日時：10/7、10/14、10/21、10/28、11/4、11/11、11/18、11/25、12/2、12/9、12/16、12/23、1/6、1/20、1/27　14：40～16：10　（全15回）
会場：北海道教育大学旭川校
定員：15名
講座の内容：主に下記の内容について、毎回テーマを設けて解説します。

① 導入
② 近代文学の成立（１明治前期）
③ 近代文学の成立（２明治中期）
④ 近代文学の成立（３明治後期）
⑤ 近代文学の成立（４明治期のまとめ）
⑥ 近代文学の広がり（１大正前期）
⑦ 近代文学の広がり（２大正中期）
⑧ 近代文学の広がり（３大正後期）
⑨ 近代文学の広がり（４昭和初年代）
⑩ 近代文学の広がり（５昭和１０年代）
⑪ 近代文学の広がり（６大正・昭和戦前期のまとめ）
⑫ 現代文学への展開（１昭和２０年代）
⑬ 現代文学への展開（２昭和３０年代）
⑭ 現代文学への展開（３昭和４０年代）
⑮ ふりかえり、まとめ

※内容・テーマに応じて時代を入れ替えて説明することがあります。
使用テキスト：日本近現代文学史への招待（山﨑義光・尾崎名津子・仁平政人・野口哲也・村田裕和・森岡卓司編、ひつじ書房、2024年）（各自で購入すること）

旭川校

XB-02　日本語学概論

「私　は／が　学生です」どう違うでしょうか。日本語学を学び，ことばの仕組みについて考えてみませんか。

講師：西内沙恵
日時：10/1、10/8、10/22、10/29、11/5、11/12、11/19、11/26、12/3、12/10、12/17、12/24、1/7、1/14、1/21　14：40～16：10　（全15回）
会場：北海道教育大学旭川校
定員：10名
受講対象者：高校生以上
講座の内容：
皆さんの母語である日本語の仕組みを，音声・文字・文法・語彙・談話から捉え直します。 日本語学という学問分野の概要と基礎知識を学び，日本語を客観的に説明してみませんか。
使用テキスト：テキストは使用せず、講師が作成したワークシートを使用します。
注意事項：受講することになった方には後日会場情報をメールでご案内します。

旭川校

XB-03　社会調査論

社会調査の意義および基礎を学ぶ

講師：角一典
日時：10/7、10/14、10/21、10/28、11/4、11/11、11/18、11/25、12/2、12/9、12/16、12/23、1/6、1/20、1/27　14：40～16：10　（全15回）
会場：北海道教育大学旭川校
定員：5名
講座の内容：本講座では、社会調査の意義および基礎を学びます。

旭川校

XB-04　社会学演習 II

社会科学の文献を輪読し、現代社会における諸問題について考える

講師：角一典
日時：10/6、10/15、10/20、10/27、11/6、11/10、11/17、11/28、12/1、12/8、12/15、12/22、1/5、1/19、1/26　14：40～16：10　（全15回）
会場：北海道教育大学旭川校
定員：5名
講座の内容：本講座では、社会科学の文献を輪読し、現代社会における諸問題について考えます。

函館校

XD-01　第二言語習得論

第二言語を学ぶ過程で起こる諸問題と可能性について、近年の第二言語習得研究を学び、議論する。

講師：菅原健太
日時：10/2、10/9、10/16、10/23、10/30、11/13、11/20、11/27、12/4、12/11、12/18、12/25、1/15、1/22　14：40～16：10　（全14回）
会場：北海道教育大学函館校
定員：5名
講座の内容：グローバリゼーションが加速する中、我々が学校の内外で母語の次に学ぶ言語（第二言語）を話す人々に出会う機会は身近なものになっている。この授業では、人々が第二言語を学ぶ過程や、その言語を使用する中で起こる諸問題と可能性について、近年の第二言語習得研究の動向を学び、議論する。特に、様々な場面で異なる特徴やビジョンを持つ人々がどんな問題に直面しながら、第二言語を話す自己を形成していくのか、また、こうした人々の活動が学校・組織、または社会全体をどのように変化させていくのか考察する（本科目は日本語教員養成プログラム履修上の必修科目である）。

授業公開講座受講申込時の個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道教育大学個人情報等取扱規則」に基づき保護に万全を期します。
申込み時にお知らせいただいた個人情報は、授業公開講座に関する業務（受講者名簿作成、登録料徴収業務など）に利用します。
また、今後開講される予定の公開講座等の案内として利用することもあります。

授業公開講座HP

申込先　北海道教育大学教育研究支援部連携推進課
011-778-0891（9：00～17:00（土曜・日曜・祝日を除く））
crc@j.hokkyodai.ac.jp
https://www.hokkyodai.ac.jp/contributions/learning/
〒002-8501　札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

登録料
2,000円